



## 10年目の実り～飛驒パプリカ～

黄色や赤、橙に色づいた「飛驒パプリカ」の収穫が最盛期を迎えています。

JAひだ高原野菜出荷組合の大西洋介さんが、トマトやホウレンソウのほかにも飛驒の特産品ができないかとパプリカの栽培を始めて10年。今では飛驒地域で年間約40トンほどの収穫があり、市内をはじめ岐阜や大阪などに出荷されます。

肉厚で甘みのある「飛驒パプリカ」をぜひご賞味ください。

撮影：上宝町蔵柱

8月・9月は「飛驒をまるごと食べんかな」月間です